

西海道節度使判官佐伯宿禰東人の妻、夫君に

贈る歌一首

六二一番

間なく 恋ふれにかあらむ 草枕 旅なる君が
夢にし見ゆる

佐伯宿禰東人の和ふる歌一首

六二二番

草枕 旅に久しく なりぬれば 汝をこそ思へ
な恋ひそ我妹

池辺王の宴に誦む歌一首

六二三番

松の葉に 月はゆつりぬ 黄葉の 過ぐれや君が
逢はぬ夜の多き